



Akira Kwarazaki

2001年よりロックバンドの活動と平行し、様々なクラブミュージックやカルチャーを追求すべくディープで中毒性のある曲を中心に圧倒的な存在感と独立のプレイスタイルを確立。

2012年10月にはModern Tool Recordsから「In Focus」を始め2014年7月 Fugenn&The White Elephantsとの共作「I's」をRelease。

2016年7月Blue Arts Musicから「Duesenberg」 2018年4月 10th Anniversary Compilationに「For K」 Tetsuya Hikita RemixをRelease。

2020年「NIGELLA」「Tacit」をRelease。

2021年4月 Zodiac13 RecordsからReqterdrumer「Phonics」 RemixでBeatport Electronica Chart 21位となる。

2022年 1月 Takuya Yamashita「A Thread of Light」 Remix でBeatport TECHNO (RAW / DEEP / HYPNOTIC) Chart 1位となる。

2016年からはThe LazarusのメンバーのGuitaristとして活動を開始。



山口 珠早紀（やまぐち みさき）

愛知県岡崎市出身。名古屋音楽大学音楽学部管楽コース 卒業。

これまでにトロンボーンを照喜名有希子、小幡芳久、吉川武典 各氏に師事。

在学中、室内楽・アンサンブルコンクールのタベXIにオーディションを経て出演。第23回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。

第24回 TIAA 全日本作曲家コンクール入選。第23回 JILA 音楽コンクール作曲部門ノミネート。ヤマハピアノ演奏グレード、指導グレードともに4級取得。

Quartet Tra-Bell トロンボーン奏者兼、作編曲家。ヤマハミュージックジャパンインストラクター。また、フリーランスのトロンボーン奏者としても東海地方を中心に各地で活動している。

2021年自身の所属する Quartet Tra-Bell にて、オリジナル曲全5曲を収録したCD「First Tra-Bell」リリース。また、「花言葉」をもとに花の名前をつけたピアノ曲を数多く作曲している。（「Misaki music」として ALL BGM CHANNEL よりサブスク音楽配信サービスにて配信中）



太田 英美（おおた えみ）

愛知県一宮市出身。名古屋音楽大学音楽学部音楽学科電子オルガンコース卒業、同大学院音楽研究科作曲専攻電子オルガン修了。

大学入学時、在学中は特待生となり、大学主催の演奏会にも多数出演。

小学生の頃より、エレクトーンコンクールに出場し数多くの受賞を重ねる。

エレクトーン作品コンテスト2019では優秀賞を受賞。ソロ演奏以外にもコラボレーション・伴奏など幅広い演奏活動を展開しながら、ラジオ等メディア音楽制作も手掛けている。

一宮市レジデンスアーティスト。

和太鼓衆SHINメンバー。



桃井 聖司（ももい せいじ）

岡崎市出身。東京都在住。『ヘラクレスの栄光』『メテオス』『大乱闘スマッシュブラザーズX』などのゲーム音楽をはじめ、映画、CM、演劇、ミュージカル、リトミックなど多岐に渡る分野の音楽を作曲。その傍ら、各種ステージで編曲・指揮・ピアノ演奏を担当。岡崎市民音楽祭、岡崎・額田合併式典、岡崎市民会館主催ダンス公演『ひとのけしき』の音楽を手がけるなど、地元岡崎での活動も精力的に続けている。2000年代より自ら脚本も担当する舞台芸術作品の創作に力を注ぎ、'01年に山梨にて『音楽劇“葉っぱのフレディ”』、'05年に岡崎にて『音楽劇“銀河鉄道の夜”』を、'22年に瀬戸にて『合唱劇“ブンナよ、木からおりてこい”』を初演し、東京・静岡・名古屋・多治見・博多はじめ各地で再演。本年6月、名古屋オペラ協会創立40周年記念公演において『オペラ“銀河鉄道の夜”』初演予定。



伊東かおり

豊橋市出身。3歳よりヴァイオリンを始める。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科修了。

宗次ホールランチタイムコンサート、岡崎市民会館サロンコンサートなど多数の演奏会に出演。2011年CD「KISEKI」をリリース。

現在岡崎市在住、東海地方を中心に演奏活動を行う傍ら、後進の指導も行っている。

岡崎音楽家協会会員。



陽葵(はるき)

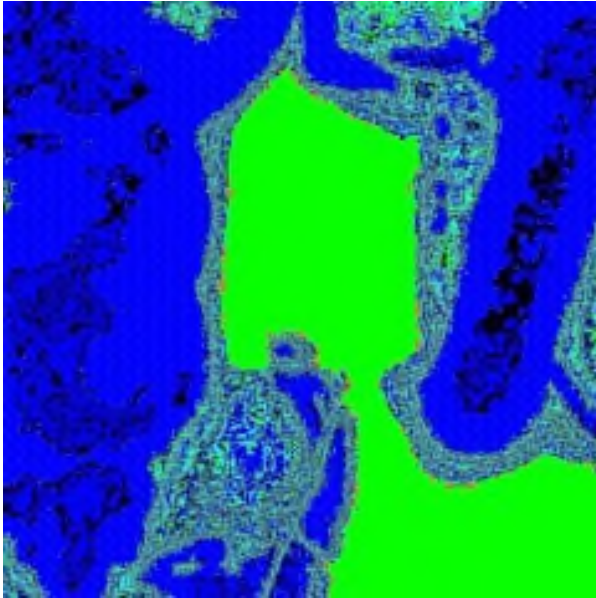
岡崎市出身。名古屋芸術大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。

劇団四季に研究生として在籍。

退所後は長崎ハウステンボスにてミュージカルやキッズショー、パレードなどに出演。

演者として活動する傍ら歌唱指導を務める。

現在はテレビCM、ドラマ出演、ベトナムでの海外演奏活動など幅広く活動している。



AM-PM

岡崎を軸に活動する作曲家

アンビエント-レフトフィールド的音景をコンピューターを通して現像する

-Event-

2/10 Quiet Village Listening Club (vol1)

3/21 Quiet Village Listening

Club (vol2)

-Art Work-

[dev-Looping]



田中 佐京（たなか さきょう）

愛知県岡崎市出身。29歳。（笙・箏・箏奏者）

20歳から名古屋を拠点に作曲活動など、様々な音楽活動を展開。

同年から雅楽を始め、現在、即興演奏や西洋楽器、和楽器、書、芸能とのコラボレーションなど、古典芸能の雅楽だけでなく、新しい表現を展開している。また雅楽と日本の関係、歴史を語る。

特徴はその楽器による即興演奏。

その場の空気に共感し、振動を感じ取り、音にすることを活動の中心に置いている。

雅楽は祈りを共振させるために生まれた。笙は「天」、龍笛は「空」、箏・箏は「地」の音であり、これらの3つで宇宙を表している。